

# 中田かわら版 3月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会  
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所  
横浜市踊場地域ケアプラザ

## ■この人に会いたい<31>

### 中田連合女性部一筋 加藤道子さん (山神前)

平成 10 年に 4 代目、中田連合自治会女性部を引継ぎ今年で 20 年目を迎え、更には泉区女性団体連絡協議会会長で大活躍されている加藤さんを紹介出来ることを光栄に思っております。

記憶では、女性部の前身は婦人部と呼ばれていたと思います。加藤さんは昭和 62 年には部員で活躍されており部長としては、4 代目と紹介しましたが歴代の部長には、昭和 48 年～56 年まで井上さん、昭和 57 年～平成 7 年まで中野さん、平成 8 年～10 年まで岡本さんが夫々活躍されました。

年を経るごとに色々な出来事が発生し、部長さんとしての取りまとめが大変な苦勞だったようです。

地域内女性の相互親睦と連合自治会運営上での潤滑剤の役目で欠くことが出来ない女性部を、まとめ引っ張って行くリーダーとして元気澁刺に活躍されておられる加藤さんの源をお聞きして参りました。

まず色々と多方面で活躍され多忙な毎日を過ごされておられますが、ご趣味はとお聞きしたところ、気の合った仲間との月数回のカラオケや旅行が若さと元気の源とお聞きし、心豊かで、誰からも慕われる包容力のある人の素晴らしい活動の源がこれだと、ご本人からのお話を聞いているうちに次第に分かって参りました。御母上が今年 100 歳になったとのこと。矍鑠とされており加藤さんの若さと元気は意外とこんな DNA を引き継いでいるのではと思いました。

女性部としての年間活動は連合自治会各種行事へのお手伝い、更には部員参加の社会生活発展のため各種講演会や講習会、子育て支援など女性としての教養を深める取り組みを計画、実行している中田では第一人者と痛感致しました。

社会研修会での施設見学会等では、部員と共に見識を高めており、エコキャップ収集では省資源活動を勢力的にしております。

中田連合自治会女性部の取りまとめだけでも大変な役目ですが、更に泉区の女性団体連絡協議会の会長も引き受けて活躍されております。

この協議会は、泉区 12 連合自治会からの女性部長によって組織され、泉区年間行事の協力参加で重要な役割と 12 連合女性部の連絡業務等、活躍の中心を担っています。

今後も、中田地域で元気に活躍されることをご祈念しつつ、ご紹介の筆を下させていただきます。

(編集委員 佐々木弘美)



加藤さん (左は岩城さん)

～一人ひとりが CO<sub>2</sub> を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

# 4月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 【寸劇フェスティバル】

日時：3月5日(日) 13:00~ (12:30 開場)

場所：泉区民文化センターテアトルフォンテ  
「楽しい子育てライフのすすめ ～サークルって?～」中田・しらゆり子育てネットにて、  
地域の子育て支援者のみなさん、親子サークルさんなどが出演します!

- 観覧無料 -

## 【卒業式・入学式】

	卒業式	入学式
中田中学校	3月10日(金)	4月5日(水)
汲沢中学校	3月10日(金)	4月5日(水)
中田小学校	3月17日(金)	4月5日(水)
東中田小学校	3月17日(金)	4月5日(水)
葛野小学校	3月17日(金)	4月5日(水)
伊勢山小学校	3月17日(金)	4月5日(水)

## ■汲沢中学校生徒会

### 10年目の「命の一円募金」運動

横浜市立汲沢中学校（栗原史生校長）の生徒会活動の一つに「命の一円募金」がある。生徒会が毎月早朝に生徒たちから一円玉募金を行い集め、集まった募金は郵便局を通じて UNICEF（国連児童基金）に贈られる。この運動は平成19年（2007年）から休みなく継続されている。

発案者は平成20年度、同校卒業生の古賀允也(まさや)さん。古賀さんが2年生で生徒会副会長をやっていた時、募金活動の尊さを訴えた「命の一円募金運動」が「よこはま国際平和スピーチコンテスト」で泉区代表として出場、横浜本選で見事、市長賞に輝いた。コンテストには市内の4万7000人を超える小・中学生が参加した。市長賞を受賞した古賀さんら小中学生4人はニューヨークに招待され国連本部、ユニセフ本部を訪れ横浜市で集められた募金1700万円を寄付した。

その古賀さんが1月、母校を訪れた。自分が発案した「命の一円募金」運動が現在、なお継続されていることへの感謝と応援したい気持ちからだ。この感動した話を栗原先生は2月13日の朝会で、古賀さんから全生徒に「命の一円募金運動」の趣旨を話してもらうことになった。当日8時45分、校内放送で約10分間、放映された。「1円はお金では一番小さな単位。でも数多く集まれば大きな善意になる。ビタミン1錠1円で1人の子供の命が救える。毎月1円を貯めることで命の一円募金運動への関心が高まってくるといい。」

古賀さんは現在、日大芸術学部の4年生、就職先も「劇団飛行機」に決まった。将来は演劇の舞台演出でカンボジアなど世界を舞台に頑張りたいと大きな希望を持っている。新年早々から明るい話題の同校、間もなくやってくる卒業、入学式のイベントに取り掛かっている。（宮田貞夫）



学校を訪問した古賀さん(左は栗原校長)

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。[www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp)へアクセス!!